

サケ稚魚放流情報 No. 4



平成24年4月19日
岩手県水産技術センター
漁業資源部
TEL: 0193-26-7915
FAX: 0193-26-7910
E-mail: CE0012@pref.iwate.jp

表面水温は、平年と比べて1~2℃低めです。動物プランクトンは、大船渡湾を除いて多い状況にあり、冷水性の大型種も目立ってきました。

今後、水温が急激に上昇する可能性があることから、飼育密度を超過せずに飼育するとともに、サイズにとらわれず早めに放流することを心がけ、5月上旬までに放流が完了するようにしてください。

1 表面水温

4月10、16日の表面水温は、宮古湾 **6.3℃** (同期9年平均7.9℃、前々年同期6.1℃)、山田湾 **5.8℃** (6.9℃、7.4℃)、唐丹湾 **6.5℃** (7.3℃※7年平均、5.1℃)、越喜来湾 **6.6℃** (7.1℃、5.1℃)、大船渡湾 **7.4℃** (8.1℃、6.1℃) と、平年と比べて1~2℃低く、前々年と比べて宮古湾と山田湾は並~2℃低く、唐丹湾、越喜来湾、大船渡湾では1~2℃高い状況でした。

2 動物プランクトン沈殿量

4月10、16日のノルパックネット鉛直20m曳きによる動物プランクトンの沈殿量は、宮古湾 **2.13ml / m³** (同期9年平均1.45ml / m³、4.02ml / m³) 山田湾 **0.82ml / m³** (0.65ml / m³、0.46ml / m³)、唐丹湾 **4.35ml / m³** (1.18ml / m³※7年平均、0.25ml / m³)、越喜来湾 **3.93ml / m³** (1.33ml / m³、0.72ml / m³)、大船渡湾 **0.22ml / m³** (0.93ml / m³、1.08ml / m³) でした。平年と比べて大船渡を除いて多く、前々年と比べて宮古湾と大船渡湾では少なかったものの、それ以外の湾では多い状況でした。また、全体的に冷水性の大型種が出現していました。

3 その他

① 海況速報 No15 (4月18日発行) によると、5℃以下の親潮系冷水は北退とともに本県沿岸から離岸し、黒埼沖に暖水塊が存在する水塊配置となっており、今後、沿岸部では急激な水温上昇が予測されます。 ※<http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/>

② 津波の影響で山田湾、広田湾以外の定地水温が得られておりません。いわて大漁ナビ (<http://www.suigi.pref.iwate.jp/>) の衛星画像も参考にしてください。

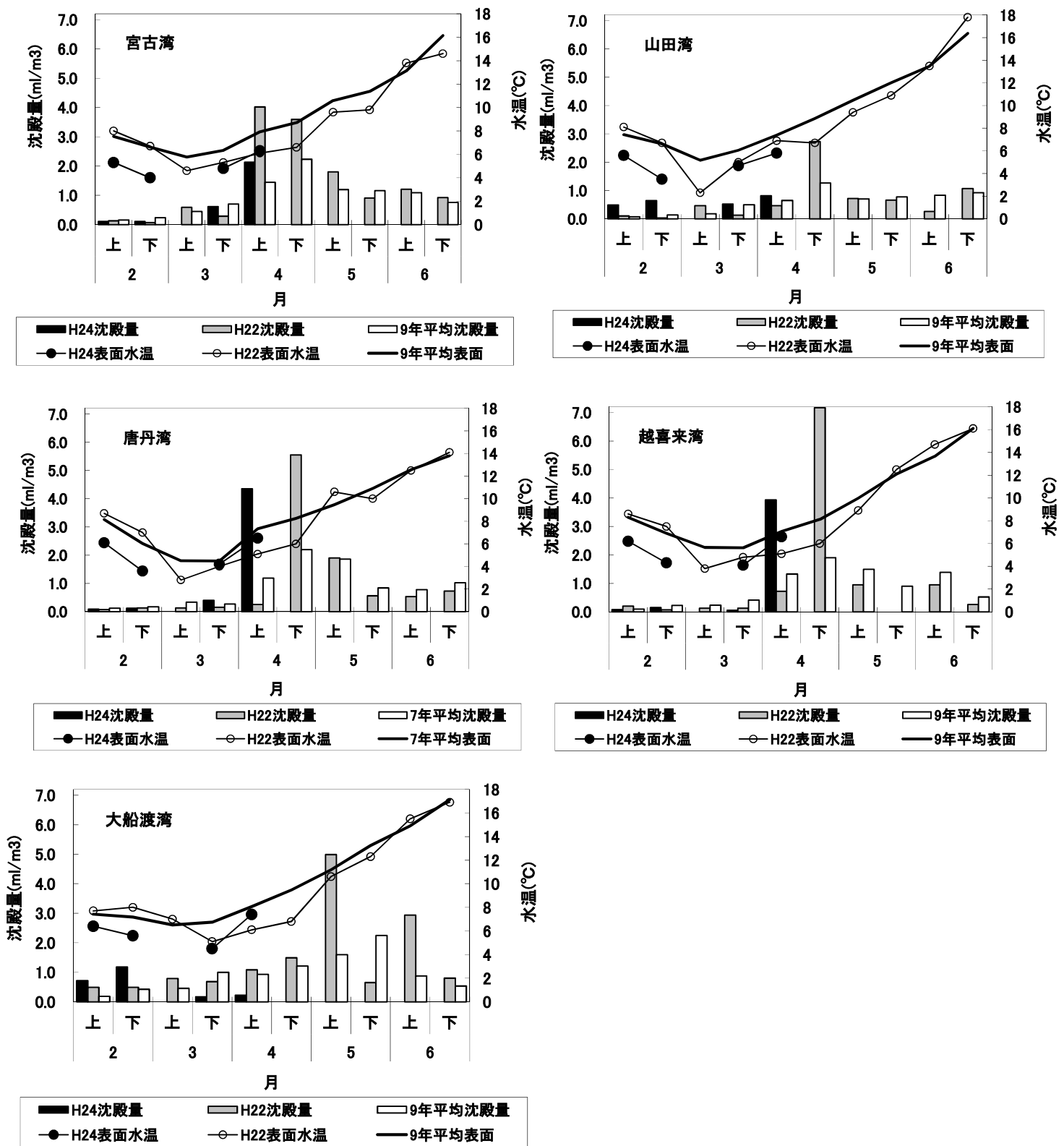


図 5 湾における動物プランクトン沈殿量、表面水温の季節変化